

2005年08月版



Teleos-Ⅲ (テレオス-Ⅲ)系
取扱説明書

保存用



ご使用になる前に

この取扱説明書は必ずヘルメットご使用前にお読みください。またお読みの後は、保管していただきますようお願いいたします。

Teleos-Ⅲ (テレオス-Ⅲ) 系
取扱説明書・目次

Contents



ご使用になる前に	2
----------	---

1 あごひもの取扱方法	4
--------------------	---

2 各ベンチレーションと エアアウトレットの操作方法	5
--------------------------------------	---

3 チンカバーの開け方	6
--------------------	---

4 チンカバー・シールドの脱着	7
------------------------	---

5 チークパッドの脱着	9
--------------------	---

6 インナーパッドの脱着	10
---------------------	----

7 補修パーツ・オプションパーツ一覧	12
---------------------------	----

「クールマックス®」について	13
----------------	----

マイナスイオン内装・「iOCA-G21」について	13
--------------------------	----

パッド類(内装)の洗浄・メンテナンスについて	13
------------------------	----

SG規格について	14
----------	----

ご使用になる前に


このたび、当製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。


この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱方法について説明してあります。ご使用になる前に必ず最後までお読みください。


またお読みの後は大切に保管してくださいますようお願いいたします。


ヘルメットはいかなる事故にも、絶対という訳ではありません。万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つであり、安全の一要素にすぎません。


安全快適なバイクライフを楽しむためにも、以下の注意事項をよくご理解いただきませうようお願いいたします。


-  **頭に合ったサイズのヘルメットを、お選びください。**

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお選びください。
-  **あごひもは必ずしっかり締めてください。**

あごひもを締めなかつたり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守る事ができず非常に危険です。
-  **大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。**

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れている場合が多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズ等がなくても、使用しないでください。
-  **ヘルメットの改造は絶対にしないでください。**

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、また、あごひもなどは絶対に改造しないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。
-  **ヘルメットのお手入れは水で薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。**

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。
-  **ヘルメットを塗りかえる時のご注意**

シェル及び衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合があります。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。ヘルメットを塗りかえる必要のある場合は専門の業者にご依頼ください。

ヘルメットは大切に取扱ってください。

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万一の為に大切に取扱ってください。また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

ヘルメットの保管について

ヘルメットは直射日光の当たる車の中や、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。

（ヘルメットに使われている材質が変質して、性能が低下します。）

また、落下しやすい、オートバイの上や高所などでの保管はしないでください。

シールドのお手入れについて

シールドの汚れを取るときには、水で薄めた中性洗剤で汚れをふき取り、最後に清水ですすいだきれいな布で拭きあげてください。ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

シールド等、取付ビスの定期的なチェックについて

シールドなどの取付ビスは、定期的にし締めを行ってください。

走行時の振動で取付ビス等が徐々にゆるむ場合があり、そのまま放置するとシールドやシールドカバーなどの部品が走行中に外れ、重大な事故につながるおそれがあります。

フルフェイスヘルメット使用上のご注意

フルフェイスをご使用の場合、走行中のヘルメット内はほぼ一定の温度ですが、高速度で移動しているため周辺の環境は常に変化しています。そのため、突然の雨やトンネルに入った直後、峠道など高低差がある場合は、ヘルメット内の温度と周辺との気温差が生じるため、シールドが急激に曇ってしまう場合があります。このような状況が予想される時は、あらかじめシールド開度の調整や適切なスピードにするなど注意をするようお願いいたします。

なお、シールドの開閉操作及び、ベンチレーションシャッター操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は危険です。

乗車用ヘルメットの有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは様々な状況下において使用されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。このため、SGマークにはヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年間」と有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮できない場合が多く、正常に使って異常が認められなくても、ご購入後3年以内に交換してください。

1 あごひもの取扱方法

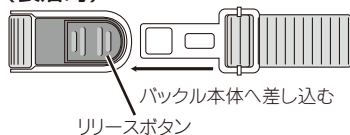
●ワンタッチバックルの脱着

このヘルメットには、あごひもの脱着が簡単にできる「ワンタッチバックル」を採用しております。

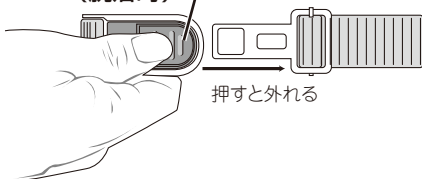
警告

ワンタッチバックルを装着しないで走行したり、装着が不完全ですと、万一転倒した際に、ヘルメットが脱げてしまうおそれがありますので、オートバイに乗る前に、確実に締まっているかを確認してから、走行してください。

(装着時)



(脱着時)



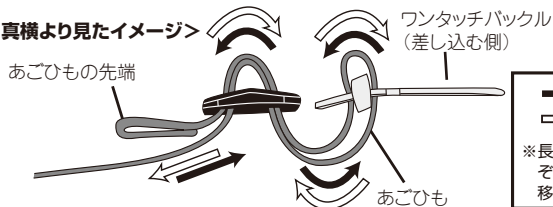
●あごひもの長さ調整

<適正なあごひもの長さ>

ヘルメットをかぶり、ワンタッチバックルをしっかり締めます。その際、のど元付近のあごひもとのどの間に、人差し指一本入る程度が適正なあごひもの長さと言えます。このときに、あごひもの長さが合っていない場合は、あごひもの長さ調整を行ってください。



<真横より見たイメージ>



→ 短くするとき

⇨ 長くするとき

※長さ調整を行うときはそれぞれの方向へあごひもを移動させてください。

警告

ワンタッチバックルをしっかり締めても、あごひもの長さが適正でないと、万一転倒した際にヘルメットが脱げたり、首元が必要以上に絞まったりするおそれがあります。あごひもはヘルメットの重要な部分ですので、慎重かつ正確に調整しましょう。

2 各ベンチレーションと エアアウトレットの操作方法

このヘルメットには、ヘルメット内部の温度調整を行うための「ヘッドベンチレーション」・「チンベンチレーション」、そして「エアアウトレット」を装備しています。「エアアウトレット」は操作すると、負圧効果によりヘルメット内部の熱気を強制排出します。また、シャッター付きですので、寒い冬や雨天時の走行などは、シャッターを閉じれば冷気や雨などをシャットアウトできます。

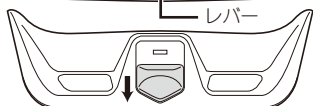
ヘッドベンチレーションの開閉

レバーを上げると開く



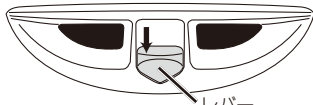
レバー

レバーを下げると閉まる



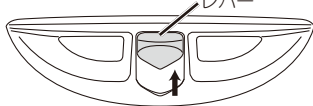
チンベンチレーションの開閉

レバーを下げると開く

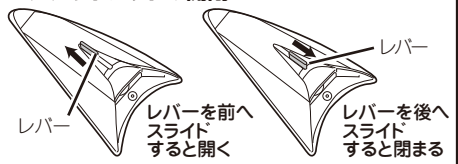


レバー

レバーを上げると閉じる



エアアウトレットの開閉



警告

- 各レバー操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は集中力が散漫になり大変危険です。

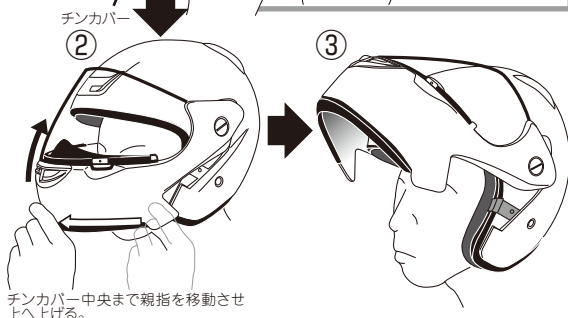
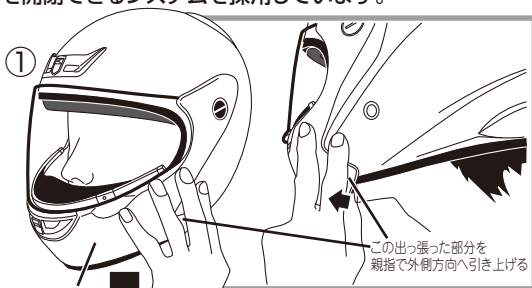
3 チンカバーの開け方

この製品は、チンカバーを開閉できるシステムを採用しています。

① 図の部分で親指で外側方向へ軽く押し上げます。

② 外側方向へ押し上げた親指をチンカバーに沿って中央に移動させ、チンカバーを上へ上げます。

③ 完了。



※シールドが開いたままチンカバーを開いても、シールドはチンカバーの元の位置へ収まるように設計されています。

！ ご注意

- チンカバーを開く際は、やさしく取扱ってください。乱暴に開閉を行うと、チンカバーがシェル（帽体）に強く当たり、キズが付いたり破損するおそれがあります。
- チンカバーを開く際は、必ず「上の図で示した」部分を持って行ってください。他の部位を持ってチンカバーを開くと、固定するためのストッパーが破損し、チンカバーを閉じている場合でも、チンカバーが不安定になる場合があります。

！ 警告

- 走行中の開閉操作は危険ですので絶対に行わないでください。開閉操作は必ず運転前もしくは停止してから行ってください。
- チンカバーを開けたまま走行しないでください。開けたまま走行すると、チンカバーに過大な風圧がかかり、首を痛めたり、重大な事故につながるおそれがあります。
- チンカバーはあくまでヘルメットの付属品であり、事故や転倒の衝撃からあごを守ることはできません。
- チンカバーを取り付けている「シールドビス」は定期的に増締めを行ってください。走行時の振動などにより緩む場合があり、そのまま使用を続けると走行中に脱落し、重大な事故につながるおそれがあります。

4 チンカバー・シールドの脱着

●チンカバーとシールドの取り外しかた

「チンカバー」と「シールド」は、別々の部品ですが、取り外しの際は同時に取り外す設計になっています。取り外した部品を紛失しないよう十分注意し、取り外し作業を行ってください。

ヘルメット本体をしっかりと持ち、シールドビスを左方向（反時計回り）へ回すと、シールドビスが外れます。この作業を左右とも行うと以下の部品が取り外せます。



- チンカバー…1個 ●シールド…1枚 ●シールドビス…2本（左右共通）
- ワッシャ…2枚（左右共通） ●ラチェット…1セット（左・右）

！ ご注意

- シールドビスを取り外す際は、必ずサイズの合ったコインもしくはマイナスドライバーを使用し、ビスに対して垂直に回すようにしてください。コインやドライバーのサイズが合っていないかた、垂直に回さないとシールドビスが破損する場合があります。
- 取り外したシールドは、キズが付かぬよう慎重に取り扱ってください。シールドにキズが付くと、視界を妨げる原因となります。

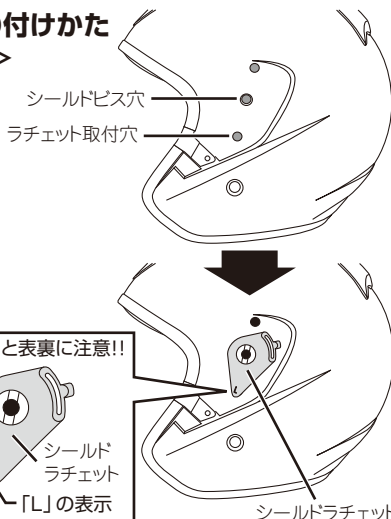
●チンカバーとシールドの取り付けかた

<この説明では左側より取り付けます>

- ①ヘルメットが安定した所で、「シールドラチェット<L>」を図のように、取り付けます。

※このとき、シールドラチェットの方角と表裏に注意してください。ラチェットに「L」もしくは「R」の表示があります。

L=左 R=右



<次ページへ続きます>

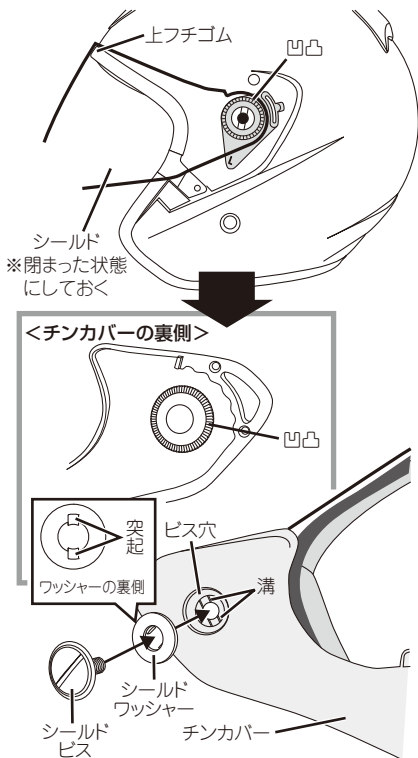
<つづき>

②組み立てたラチェットの上より、シールドを乗せます。このとき、シールドは閉まった状態で、「上フチゴム」にシールドの上部が密着する角度にしておきます。

③シールドの凹凸、チンカバー裏側の凹凸を合わせ、ヘルメットに対してしっかり押さえます。

④組み立てたチンカバーをしっかりと押さえたまま、チンカバーのビス穴にある溝へシールドワッシャーの「突起」を合わせて取付け、最後にシールドビスを右方向（時計回り）に締め込めば、取付完了です。

※この作業を反対側も行います。このとき、チンカバーやシールドを無理な方向へねじったり、力を加えると破損するおそれがありますので、十分注意して行ってください。



❗ ご注意

- シールドビスを締める際は、無理な力で締め付けしないでください。無理な力で締め付けると、ビスや部品等が破損する原因となります。
- シールドビスを締める際は、必ずサイズの合ったコインもしくはマイナスドライバーを使用し、ビスに対して垂直に回すようにしてください。コインやドライバーのサイズが合っていなかったり、垂直に回さないと、ネジ山が潰れる場合があります。

⚠ 警告

- チンカバーを取り付けた後は、必ず走行前にチンカバーとシールドの開閉動作が正常に行われるか確認したうえでご使用ください。取付が不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあり重大な事故等の原因となります。
- チンカバーを取り付けている「シールドビス」は定期的増締めを行ってください。走行時の振動などにより緩んでいる場合があり、そのまま使用を続けると走行中に脱落し、重大な事故につながるおそれがあり大変危険です。

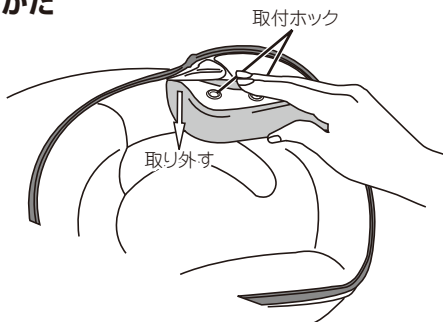
5 チークパッドの脱着

このヘルメットは、汗やホコリなどで汚れたとき、チークパッドを取り外せば、丸ごと洗える「内装脱着システム」を採用しております。

また、お持ちのヘルメットサイズと違うサイズのチークパッド(P.12「**7** 補修パーツ・オプションパーツ一覧」を参照)を取付することも可能ですので、お好みに合わせてサイズフィッティングが可能です。

●チークパッドの取り外しかた

チークパッドをしっかりと持ち、取付ホックを外し、抜き取れば取り外せます。この作業を左右両方とも行います。



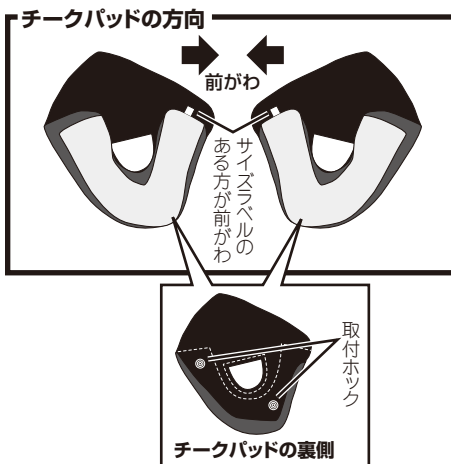
❗ ご注意

チークパッドを取り外す際は、無理に引っばらないで取付ホックの根元から外すようにしてください。無理に引っ張ったりすると、ホック部分が破損するおそれがあります。

●チークパッドの取り付けかた

①チークパッドの方向を確認します。

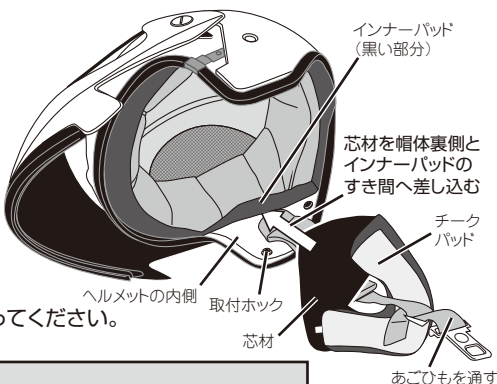
※チークパッドの方向は、サイズラベルの位置にて、確認してください。サイズラベルの付いているほうが前です。



<次ページへ続きます>

<つづき>

- ②あごひもをチークパッドの穴へ通し、チークパッドの芯材を帽体とインナーパッドのすき間へ差し込みます。
- ③最後にチークパッド裏側の取付ホックを帽体側ホックへしっかり止めれば完了です。
※この作業を左右とも行ってください。



❗ ご注意

チークパッドが完全に取り付けられていることを確認してから走行してください。また正しく取り付けがなかったり、取り付けずに走行するのは、危険ですでおやめください。

6 インナーパッドの脱着

このヘルメットは、汗やホコリなどで汚れたとき、インナーパッドを取り外せば、丸ごと洗える「内装脱着システム」を採用しております。

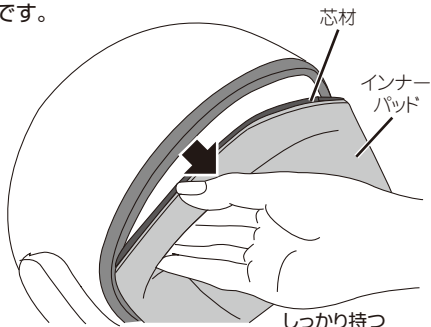
また、お持ちのヘルメットサイズと違うサイズのインナーパッド(P.12「**7** 補修パーツ・オプションパーツ一覧」を参照)を取付することも可能ですので、お好みに合わせてサイズフィッティングが可能です。

●インナーパッドの取り外しかた

- ①まず、「**5** チークパッドの脱着」を参照しながら、チークパッドを取り外します。
- ②図のように額部分の内装部分をしっかり持ち、手ごたえがあるまで、ゆっくり引っぱります。
- ③同じく、後頭部も取り外せば完了です。

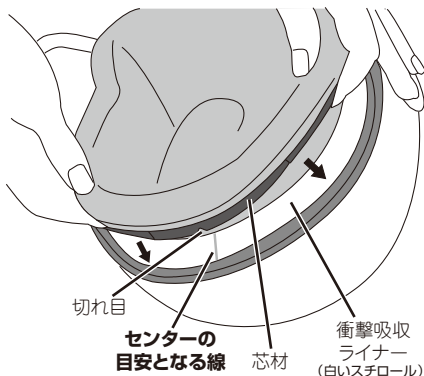
❗ ご注意

インナーパッドを引っぱる際、無理な力をかけずに引っぱるようにしてください。無理に引っぱると、インナーパッドが破損するおそれがあります。



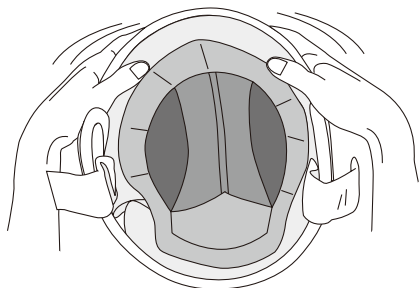
●インナーパッドの取り付けかた

①まず、ヘルメットを逆に置き、前側のヘルメット中央にインナーパッドの芯材中央を合わせます。
(芯材の中央に切れ目があります)
なおこの時、白い衝撃吸収ライナーにあるセンターラインを「ヘルメット中央の目安」とします。



②インナーパッドの芯材をヘルメットと衝撃吸収ライナーのすき間へ中央より強く押し込んでいきます。

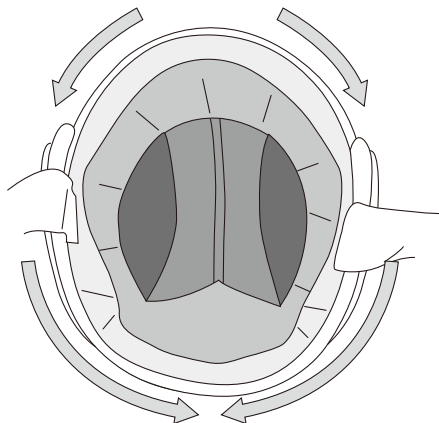
③前側のはめ込みが終われば、“前から後へ”というように、インナーパッドの生地を順番にすき間へ完全に入れ、シワなどをきれいに整えたら完了です。



❗ ご注意

●必ず上記の手順で取付けを行ってください。手順を間違えるとしわがよって、正常にインナーパッドを装着できなくなるおそれがあります。

●正しくインナーパッドが装着されているかを確認したうえで、走行してください。また取り外したままや、正しく装着されていない状態での走行は危険ですのでおやめください。



7 補修パーツ・オプションパーツ一覧

以下の補修用およびオプションパーツは、当製品をお買い求めになられた販売店で、お買い求めもしくはお取り寄せができます。

パーツ名称	価格 (税込)	カラー/サイズ	セット内容	備考	参照ページ
補修用エア・ アウトレット (2個入)	¥840	クリア スモーク	ポイントベンチレーションNo.2×2個	・取り付け方法は、強力両面テープでの接着となります。	P.5
Teleos-Ⅲ・ 補修用 チンカバー	¥3,990	カラーを ご指定ください。	Teleos-Ⅲチンカバー×1個	・Teleos-Ⅲ専用パーツ ・シールドは付属しておりません。	P.7
Teleos-Ⅲ 専用シールド	¥2,940	クリア ライトスモーク スモーク	Teleos-Ⅲシールド×1枚	・Teleos-Ⅲ専用パーツ	P.7
Teleos-Ⅲ専用 シールドラチェット セット	¥525		シールドラチェット:1セット<左・右> シールドワッシャー:2個<左右共通> シールドビス:2個<左右共通>	・Teleos-Ⅲ専用パーツ	P.7
Teleos-Ⅲ専用 シールドビス セット	¥210	ホワイト ブラック	シールドビス:2個<左右共通>	・Teleos-Ⅲ専用パーツ	P.7
Teleos-Ⅲ チークパッドセット	¥2,100	S・M・L・XL	チークパッド×1セット<左・右>	※下記の「パッドのフィット ングについて」をご覧下 さい。	P.9
Teleos-Ⅲ専用 インナーパッド	¥2,625	S・M・L・XL	インナーパッド×1個	※下記の「パッドのフィット ングについて」をご覧下 さい。	P.10

※パッドのフィットングについて

Teleos-Ⅲは「S・M・L・XL」いずれのサイズのパッドも取り付けできますので、「チークパッド」「インナーパッド」ともに、部分的なサイズの変更が可能です。

各パッドのサイズ設定は、下限が「Sサイズ」、上限が「XLサイズ」となっており、それ以上の設定はできません。予めご了承ください。

❗ ご注意

パーツのご購入時は、必ずお買い求めのパーツがお持ちのヘルメットに適合しているか確認してください。

COOL MAX®

「クールマックス®」について

汗を素早く蒸散し、いつもサラッと快適。

- 体から発汗すると、「クールマックス®」は水分を外へ排出し、空気が外部から入り込んで、冷却・乾燥させる効果があり、体表温度を下げ、優れた水分調整機能を発揮します。
- 「クールマックス®」は、自然な風合いを持ち、ソフトで軽量、通気性にも優れています。

※「COOLMAX®」および「クールマックス®」はインビスタ社の登録商標です。



マイナスイオン内装・「iOCA-C21」について

時代は「快適」から「癒し」へ…。

話題のマイナスイオン・発生効果を持つ、ニューコンセプトヘルメットです。

- マイナスイオンは、心身をリラックス&リフレッシュさせる「癒し」効果があるといわれています。
- プラスイオンを吸収し、マイナスイオンを放出する備長炭から生まれた繊維、「iOCA-C21」採用しています。



パッド類（内装）の洗浄・メンテナンスについて

- 取り外した内装を洗濯機で洗う場合は、市販されている家庭用洗たく洗剤を使用し、必ず洗たくネットに入れてから洗ってください。また洗たく後は、しっかり水気をきり、直射日光の当たらない風通しの良い場所でかげ干しを行ってください。
- 回転式乾燥機能付の全自動洗濯機などで、乾燥温度が50℃以上になるような場合は、必ず手洗いを行い、しっかり水気をきってからかげ干ししてください。
- 雨天走行後など、パッドが濡れてしまった場合は、そのまま放置せず乾いた布で水気をしっかりふき取ってから、かげ干ししてください。
- 「チークパッド」や「インナーパッド」は、“消耗品”です。内装生地が傷んだりかぶり心地が悪くなってきたら、パッドの交換をおすすめいたします。

SGマークの制度について

このヘルメットにつけられているSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり国の定める認定基準に適合していないために、着用者が損害を蒙った場合に、その損害を賠償するものです。

なおプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、認定基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

SGマーク制度の有効期間は、 「購入後3年間」です。

ヘルメットは使用にともない、老朽・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持出来ないことがあります。このため、SGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年間」との有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しないおそれがありますので、十分にご注意ください。また、3年以内であっても、大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しないおそれがありますので、十分にご注意ください。

SGマークに関するお問い合わせ先は、

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-9 共同ビル7階

製品安全協会

☎(03)5255-3631

日本安全帽工業会



オージーケー販売株式会社
〒577-0037 大阪府東大阪市御厨西ノ町2丁目1-3 TEL (06) 6783-5906
URL <http://www.ogkhelmet.com>